

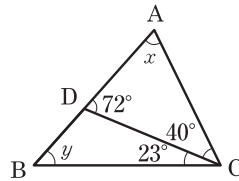
5

図形の基本性質

ポイント 1 三角形の角

例題 右の図で、 $\angle x$ 、 $\angle y$ の大きさを求めなさい。

解法 $\triangle ADC$ で、内角の和は 180° だから、
 $\angle x = 180^\circ - (72^\circ + 40^\circ) = 68^\circ$
 $\angle ADC$ は $\triangle DBC$ の外角だから、
 $72^\circ = \angle y + 23^\circ \rightarrow \angle y = 72^\circ - 23^\circ = 49^\circ$

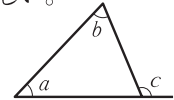


● 三角形の角

- ① 内角の和は 180° である。
- ② 外角は、それととなり合わない2つの内角の和に等しい。

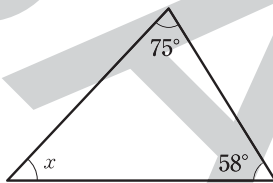
→ 右の図で、

$$\angle a + \angle b = \angle c$$



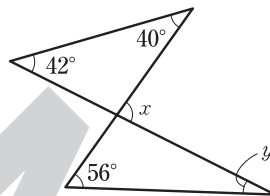
● 確認問題 1 下の図で、 $\angle x$ 、 $\angle y$ の大きさを求めなさい。

□(1)



$\angle x$ []

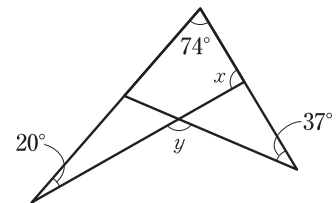
□(2)



$\angle x$ []

$\angle y$ []

□(3)



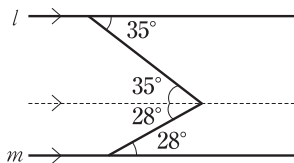
$\angle x$ []

$\angle y$ []

ポイント 2 平行線と角

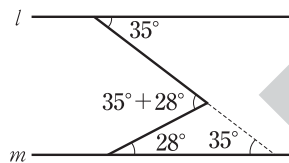
例題 右の図で、 $l \parallel m$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

解法 ① l に平行な直線をひく



$$\angle x = 35^\circ + 28^\circ = 63^\circ$$

② 三角形の外角を利用



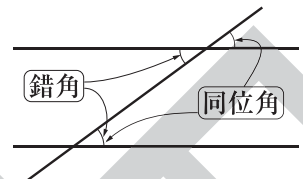
$$\angle x = 35^\circ + 28^\circ = 63^\circ$$

● 対頂角 対頂角は等しい。

● 平行線と角

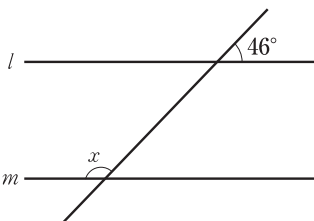
2 直線が平行

⇔ 同位角が等しい。
 錯角が等しい。



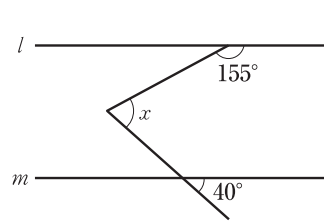
● 確認問題 2 下の図で、 $l \parallel m$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

□(1)



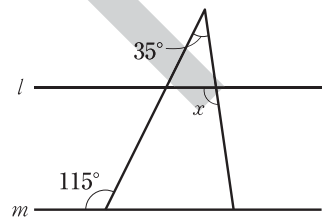
[]

□(2)



[]

□(3)



[]

ポイント 3 多角形の角

【例題】 次の問いに答えなさい。

- (1) 五角形の内角の和を求めなさい。
- (2) 正五角形の1つの内角の大きさを求めなさい。

【解法】 (1) $180^\circ \times (n-2)$ の式で、 $n=5$ とおくと、

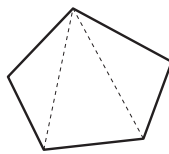
$$180^\circ \times (5-2) = 540^\circ$$

(2) 正五角形の内角の数は5個で、すべて等しいから、

$$(1) \text{より、} 540^\circ \div 5 = 108^\circ$$

〔別解〕 外角の和は 360° だから、1つの外角の大きさは、 $360^\circ \div 5 = 72^\circ$

$$\text{よって、1つの内角の大きさは、} 180^\circ - 72^\circ = 108^\circ$$



● n 角形の内角と外角

① n 角形の内角の和

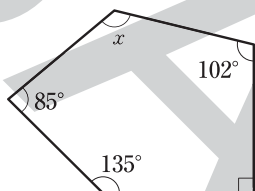
$$\rightarrow 180^\circ \times (n-2)$$

② n 角形の外角の和

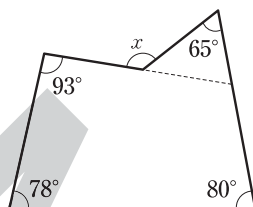
$$\rightarrow 360^\circ$$

● 確認問題 3 次の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

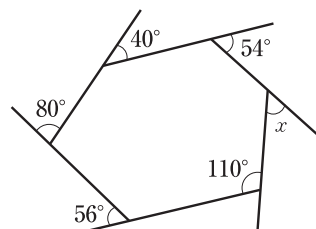
□(1)



□(2)



□(3)



[]

[]

[]

ポイント 4 合同な図形

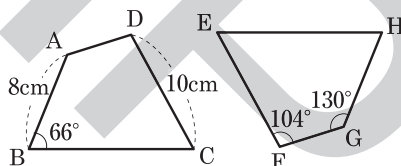
【例題】 右の図で、四角形 $ABCD \cong$ 四角形 $GHEF$ であるとき、次の問いに答えなさい。

- (1) 辺 EF の長さを求めなさい。
- (2) $\angle E$ の大きさを求めなさい。

【解法】 (1) 辺 EF に対応する辺は辺 CD であるから、 $EF=10\text{cm}$

(2) $\angle H$ に対応する角は $\angle B$ であるから、 $\angle H=66^\circ$

$$\text{四角形GHEFの内角の和より、} \angle E + 104^\circ + 130^\circ + 66^\circ = 360^\circ \rightarrow \angle E = 60^\circ$$



● 合同な図形の性質

- ① 対応する辺は等しい。
- ② 対応する角は等しい。

● 確認問題 4 右の図の2つの四角形は合同である。これについて次の問いに答えなさい。

□(1) 2つの四角形が合同であることを、記号を使って表しなさい。

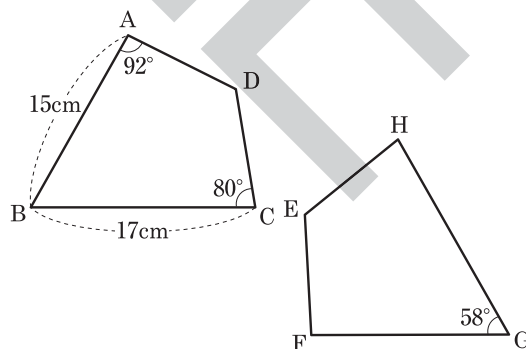
[]

□(2) 辺 FG の長さを求めなさい。

[]

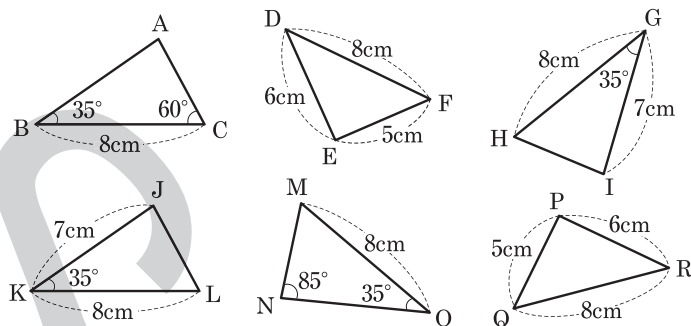
□(3) $\angle D$ の大きさを求めなさい。

[]



ポイント 5 三角形の合同条件

例題 下の図のような三角形がある。どれとどれが合同かを式で表し、その合同条件をいいなさい。



● 三角形の合同条件

- ① 3組の辺がそれぞれ等しい。
- ② 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい。
- ③ 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい。

解法 辺の長さ、角の大きさをそれぞれの三角形でくらべる。

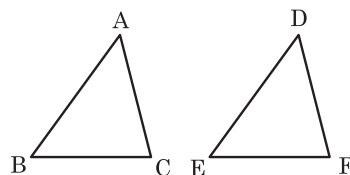
$\triangle ABC \equiv \triangle NOM$ …… 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい。(← $\angle M = 180^\circ - 85^\circ - 35^\circ = 60^\circ$)

$\triangle DEF \equiv \triangle RPQ$ …… 3組の辺がそれぞれ等しい。

$\triangle GHI \equiv \triangle KLJ$ …… 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい。

確認問題 5 右の図の $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であることをいうためには、次の条件に何を加えればよいか。〔 〕にあてはまる辺や角を書きなさい。また、そのとき使った合同条件をいいなさい。

- (1) $AB=DE$, $AC=DF$, $[\angle \quad] = [\angle \quad]$
 合同条件〔 $\quad \quad \quad$ 〕
- (2) $BC=EF$, $AC=DF$, $[\angle \quad] = [\angle \quad]$
 合同条件〔 $\quad \quad \quad$ 〕
- (3) $AC=DF$, $\angle A = \angle D$, $[\angle \quad] = [\angle \quad]$
 合同条件〔 $\quad \quad \quad$ 〕



ポイント 6 仮定と結論

例題 「三角形の3つの内角の和は 180° である。」の仮定と結論をいいなさい。

解法 「 p ならば q 」という形で表されているとき、 p の部分を仮定、 q の部分を結論という。

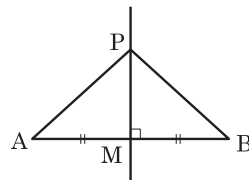
この文を「 p ならば q 」の形に書きかえると、「三角形ならば3つの内角の和は 180° である。」となる。

→ 仮定……三角形, 結論……3つの内角の和は 180° である。

確認問題 6 次のことがらの仮定と結論をいい、(3)は、図の中の記号を使って式の形で表しなさい。

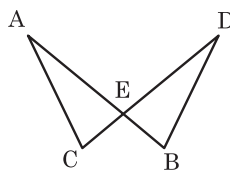
- (1) x が12の倍数ならば、 x は6の倍数である。
 仮定〔 $\quad \quad \quad$ 〕, 結論〔 $\quad \quad \quad$ 〕
- (2) 正三角形の3つの角は等しい。
 仮定〔 $\quad \quad \quad$ 〕, 結論〔 $\quad \quad \quad$ 〕
- (3) 線分の垂直二等分線上の点からその線分の両端までの距離は等しい。

仮定〔 $\quad \quad \quad$ 〕
 結論〔 $\quad \quad \quad$ 〕



ポイント 7 証明のしかた

【例題】 右の図で、 AB と CD の交点を E とする。
 $AE=DE$, $\angle A=\angle D$ ならば、 $CE=BE$ であることを証明しなさい。



【解法】 仮定と結論を明確にし、根拠を考えて、証明の道すじを立てる。

〔仮定〕 $AE=DE$, $\angle A=\angle D$

〔結論〕 $CE=BE$

〔証明〕 $\triangle AEC$ と $\triangle DEB$ において、
 仮定より、 $AE=DE$, $\angle A=\angle D$
 対頂角は等しいから、 $\angle AEC=\angle DEB$
 1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから、
 $\triangle AEC \cong \triangle DEB$ よって、 $CE=BE$

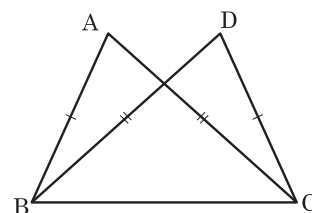
● 証明 仮定から出発し、すでに正しいと認められたことがらを根拠に使って結論を導くこと。

● 証明に使われる根拠

- ① 対頂角の性質
- ② 平行線の性質と条件
- ③ 三角形の角の性質
- ④ 合同な図形の性質
- ⑤ 三角形の合同条件 など

確認問題 7 次の問いに答えなさい。

□(1) 右の図で、 $AB=DC$, $AC=DB$ ならば、 $\angle BAC=\angle CDB$ であることを証明したい。このとき次の①, ②に答えなさい。



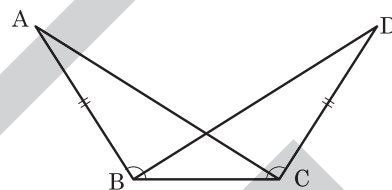
□① 仮定と結論をいいなさい。

仮定〔 〕, 結論〔 〕

□② 結論を導くときに使う合同な2つの三角形をいい、また、その合同条件を書きなさい。

〔 〕
 合同条件〔 〕

□(2) 右の図で、 $AB=DC$, $\angle ABC=\angle DCB$ ならば、 $AC=DB$ であることを証明しなさい。



〔証明〕 $\triangle ABC$ と〔 〕において、

仮定より、 $AB=$ 〔 〕……①

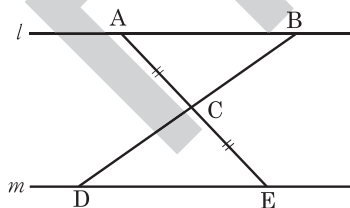
$\angle ABC=$ 〔 〕……②

また、〔 〕は共通……③

①, ②, ③より、〔 〕がそれぞれ等しいから、 $\triangle ABC \cong$ 〔 〕

よって、 $AC=DB$

□(3) 右の図で、2直線 l と m は平行で、点 C は線分 AE の中点である。このとき、 $BC=DC$ であることを証明しなさい。



〔証明〕 $\triangle ABC$ と〔 〕において、

仮定より、 $AC=$ 〔 〕……①

〔 〕は等しいから、 $\angle ACB=$ 〔 〕……②

$l \parallel m$ より、〔 〕は等しいから、 $\angle BAC=$ 〔 〕……③

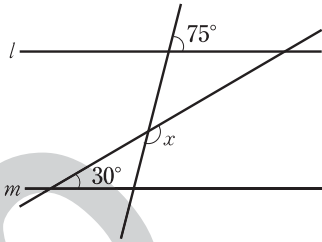
①, ②, ③より、〔 〕がそれぞれ等しいから、 $\triangle ABC \cong$ 〔 〕

よって、 $BC=DC$

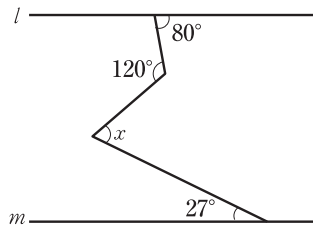
● 練成問題

1 次の図で、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。ただし、(1)～(3)では $l \parallel m$ である。

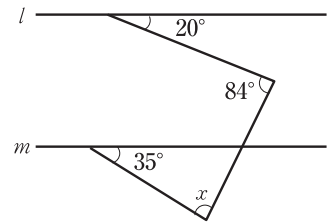
□(1)



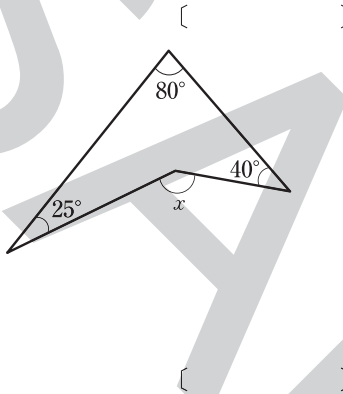
□(2)



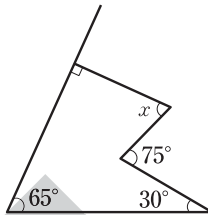
□(3)



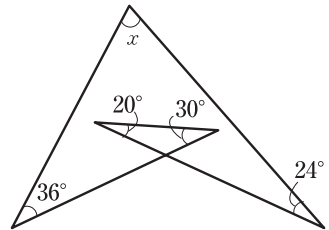
□(4)



□(5)



□(6)



2 次の問いに答えなさい。

□(1) 正九角形の1つの外角の大きさと1つの内角の大きさを求めなさい。

外角〔 〕 内角〔 〕

□(2) 1つの内角の大きさが 150° である正多角形の辺の数と内角の和を求めなさい。

辺の数〔 〕 内角の和〔 〕

3 次の問いに答えなさい。

□(1) 右の図の $\triangle ABC$ で、点Pは $\angle B$ と $\angle C$ の二等分線の交点である。

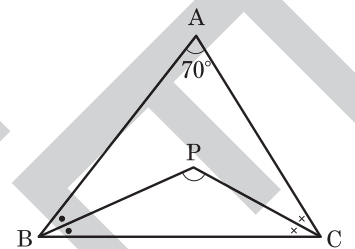
$\angle A = 70^\circ$ のとき、次の①、②に答えなさい。

□① $\angle ABC$ と $\angle ACB$ の大きさの和を求めなさい。

〔 〕

□② $\angle BPC$ の大きさを求めなさい。

〔 〕



□(2) 右の図の四角形ABCDで、点Pは $\angle C$ と $\angle D$ の二等分線の交点である。

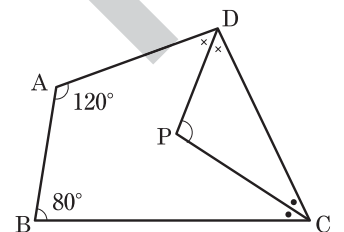
$\angle A = 120^\circ$ 、 $\angle B = 80^\circ$ のとき、次の①、②に答えなさい。

□① $\angle BCD$ と $\angle ADC$ の大きさの和を求めなさい。

〔 〕

□② $\angle CPD$ の大きさを求めなさい。

〔 〕



- 4 右の図で、2つの線分ABとCDがそれぞれの中点Mで交わっているとき、 $AC=BD$ である。このことを証明するとき、次の問いに答えなさい。

□(1) 仮定と結論をいいなさい。

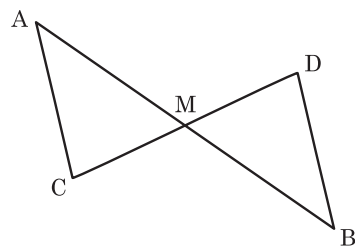
仮定〔

結論〔

□(2) 結論を導くときに使う合同な2つの三角形をいいなさい。また、その合同条件を書きなさい。

〔

合同条件〔



- 5 右の図で、 $AB=AD$ 、 $\angle ABC=\angle ADE$ ならば、 $BC=DE$ であることを証明しなさい。

□〔証明〕 $\triangle ABC$ と〔 $\triangle$ 〕において、

仮定より、〔 $\angle$ 〕 $=$ 〔 $\angle$ 〕……①

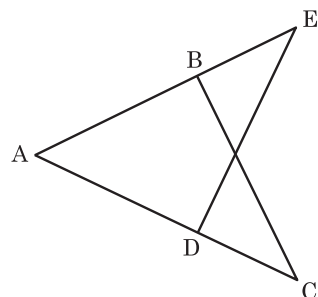
〔 $\angle$ 〕 $=$ 〔 $\angle$ 〕……②

また、〔 $\angle$ 〕 $=$ 〔 $\angle$ 〕(共通)……③

①、②、③より、〔 $\triangle ABC \cong \triangle ADE$ 〕がそれぞれ等しいか

ら、 $\triangle ABC \cong \triangle ADE$

よって、 $BC=DE$



- 6 右の図のように、 $\triangle ABC$ の辺BCの中点をDとし、Dを通りACに平行な直線とABとの交点をE、Dを通りABに平行な直線とACとの交点をFとする。このとき、 $\triangle EBD \cong \triangle FDC$ であることを証明しなさい。

□〔証明〕 $\triangle EBD$ と〔 $\triangle$ 〕において、

仮定より、 $BD=$ 〔 DC 〕……①

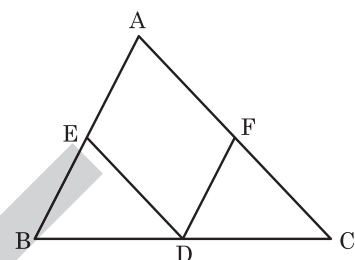
$ED \parallel AC$ より、〔 $\angle$ 〕は等しいから、

〔 $\angle$ 〕 $=$ 〔 $\angle$ 〕……②

$AB \parallel FD$ より、〔 $\angle$ 〕は等しいから、

〔 $\angle$ 〕 $=$ 〔 $\angle$ 〕……③

①、②、③より、〔 $\triangle EBD \cong \triangle FDC$ 〕がそれぞれ等しいから、 $\triangle EBD \cong \triangle FDC$



- 7 右の図は、直線l上の点Oからlの垂線を①、②、③の順で作図したものである。

この作図で、 $l \perp OP$ になっていることを証明しなさい。

□〔証明〕 $\triangle PAO$ と〔 $\triangle$ 〕において、

作図から、 $OA=$ 〔 OB 〕……①、 $AP=$ 〔 BP 〕……②

また、〔 $\angle POA = \angle POB$ 〕は共通……③

①、②、③より、〔 $\triangle PAO \cong \triangle PBO$ 〕がそれぞれ等しいから、

$\triangle PAO \cong \triangle PBO$

したがって、 $\angle POA=$ 〔 $\angle POB$ 〕

また、 $\angle POA+$ 〔 $\angle POB$ 〕 $=180^\circ$ だから、

$\angle POA=$ 〔 90° 〕

よって、 $l \perp OP$

